



UNNA魂 PROJECT2

中学生と考える地域課題解決に向けた『新たな地域の価値づくり』

うんな中学校ではSDGsの取り組みの基、地域の課題を解決していける人材を育てるために、村の地域課題を学び生徒の発想で課題解決していく授業をさまざまなテーマで行っています。

2022年は「防災と福祉」、「軽石を村の未来へつなぐ取り組み」、「恩納村産アーサを使った商品開発」をテーマに取り組みました。

授業にあたっては、村内外の企業や団体、行政などがそれぞれの強みやノウハウを用いて連携しながら実施し、実際に地域課題を解決するようなさまざまな商品や成果物を発表することができました。

『2022年に取り組んだ地域課題』



『2022年の取り組み成果』



3年A組『避難経路アプリの開発』
パートナー企業:アステリア(株)
▶災害時に高齢者や障害を持つ方を地域でサポートできるよう、生徒が共助体験や地域のフィールドワークを実施し、避難経路アプリの試作版を開発しました。
このアプリは、「位置情報がわかる」、「必要な道具や補助人数がわかる」、「情報を共有できる」など、避難経路の危険力所やサポートが必要な場所などを画像付きで確認することができます。



3年B組『軽石の学びと利活用』
パートナー企業:ネコの自然わくわく教室
▶軽石の観察や、フィールドワークなどを通して、軽石の漂着は自然活動の一部であり、このすべてが悪いことではないことを学び、幅広い世代に軽石について理解を深めてもらうため、洗い流すパックなど軽石の利活用案を成果発表会の中で提案しました。
実際に軽石のストラップを作成し、修学旅行で交流した長野県川上村の生徒にプレゼントしました。



3年C組『村産堅あげポテトの開発』
パートナー企業:カルビー(株)
▶カルビーの開発担当者による授業やパッケージ考案を通し、恩納村産のアーサを使用した新商品の開発に取り組みました。
パッケージは生徒たちのアイデアを基にアーサの養殖場を背景にし、味も生徒と試行錯誤を重ね、「でーじまーさんアーサそば味」となりました。
『堅あげポテト でーじまーさんアーサそば味』
1箱6袋入 702円(税込み) おんなの駅にて販売中!

このプロジェクトは、SDGsの発想を基に2023年も継続されます!



◀SDGsパートナーシップ2022『UNNA魂 PROJECT2』取り組み動画

お問い合わせ:恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com

